

# 議会改革特別委員会行政視察報告

(平成28年7月25日～26日)

## <視察先>

岐阜県 関市(タブレット端末の活用)

滋賀県 大津市(議会基本条例、議会ミッションロードマップ)



関市議会視察状況

## <視察者>

委員長	西村豪武
副委員長	森腰英信
委員	近藤勝久
委員	日高和広
委員	三樹喜久代
委員	海野誓生
委員	黒木万治
委員	甲斐敏彦
委員	岩切 裕
委員	溝口 孝

# 岐阜県 関市

平成29年2月1日現在		
人口	90,014	人
世帯数	34,741	世帯
面積	472.33	km <sup>2</sup>



## ○26年度決算

一般会計歳出決算額	財政力指数	経常収支比率
384億4,488万円	0.64	91.7%

うち議会費決算額	議会費の割合	議員数
2億9,692万円(日向市2億3,650万円)	0.8%(日向市0.8%)	22人

# 関市議会の組織

区分	委員会名	定数	主な所管・調査事項
常任	総務厚生	8	市長公室、企画部、総務部、福祉部、市民環境部
	文教経済	8	経済部、農業委員会、教育委員会
	建設	7	建設部、水道部
	議会運営	8	議会運営 <b>※議会改革を担当</b>
特別	観光振興に関する調査	11	観光振興
	公共施設等再配置に関する調査	11	公共施設等再配置



議場内見学時の様子

## ■ 関\*はもみん

ウサギをモチーフに、耳は関市の代表的産業の刃物で未来を切り開くイメージからハサミになっています。新芽のしっぽをつけて新たな発展を表現して、関市とともにキャラクターも育ててほしいという願いが込められています。



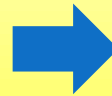
# タブレット端末の導入

## 導入目的

議会へのタブレット端末導入によりペーパーレス化を図り、

**事務の効率化、コスト削減、省資源化**

を推進します。



## 導入の経緯①

時期	内容
平成24年	12月補正予算で購入費を計上
平成25年 2月	ipad12台、wi-fiルーター1台購入。 正副議長、議会運営委員、事務局に配布。
3月	事務局員が講師となり、研修会を2回実施 <b>3月定例会から常任・特別委員会で試験運用（紙と併用）</b>
4月	個人所有ipadも同様に扱うことを確認。（申請により許可） 6月定例会から随時ペーパーレス化への移行を確認。
6月	6月補正予算で、11台を追加購入（計23台）。 未貸与議員にも配布し、研修会を3回実施。
9月	<b>9月定例会から本格導入。（紙と併用）</b>
10月	ルーター1台追加、端末使用規程(※)の制定、研修会の実施
12月	<b>12月定例会から完全ペーパーレス化の実施</b>

※ 使用規程は、問題発生時に代表者会議で協議することで比較的緩やかな制限としている。（関係ないページ・SNS不可、情報管理の徹底など）

## 導入の経緯②

時期	内容
平成26年 3月	3月定例会前に研修会を実施 会派代表者会議で議会棟のwi-fi環境整備推進を決定。 (ルーター通信からwi-fiスポット通信への移行)
6月	6月定例会前に研修会を実施
8月	議会棟・行政棟のwi-fiスポット整備完了
平成27年 6月	会派代表者会議で <b>ipad以外のタブレット機器の使用を許可</b> → 慣れた機器、アプリなど自分流にカスタマイズ…
12月	会派代表者会議で <b>ノート型パソコンの使用を許可</b> → 複数画面が見れる、画面が大きい、メモが容易…

### 現在の使用状況

- ・公費購入機の利用者(12名)
- ・個人所有機の利用者(9名)
- ・両機を併用している者(2名)



# データ配信のしくみ

セキュリティのためメールを活用



端末購入先から活用の提案があった。

2GBまで無料なので、その範囲で使用中(3年目で10%ほどの使用量)  
→ すべてPDFとし、画像や動画はアップしない。

# タブレット端末の便利な機能と活用

- **データ通信機能**      **クラウドサーバーを利用して最新の情報を共有**
  - ・ 市政の概要、計画、ガイドブックなどの閲覧
  - ・ 議案の差し替えなどはデータ更新だけでOK
  - ・ 招集通知や各種文書の一斉配信
- **カレンダー機能**      **スケジュールを共有、事務局で一括管理**
  - ・ 個人スケジュールも管理OK(他人は閲覧不可)。
- **カメラ機能**      **現場写真などの整理や送信も簡単**
  - ・ 新聞記事のスクラップアプリも活用
- **メール機能**      **従来のFAXに代えて、全てメールで通知**



# 導入にかかった経費①

【導入時:H25. 2~9】

ipad本体	42,800円 × 23台	984,400円
wi-fiルーター	33,600円 × 2台	67,200円
ルーター契約事務手数料	3,150円 × 2台	6,300円
Adobe Acrobat ※	38,745円 × 2個	77,490円
本体カバー	3,220円 × 23個	74,060円
保護フィルム	2,480円 × 23個	57,040円
Ipad置台	120円 × 50個	6,000円
導入時経費合計		1,272,490円

※ PDFデータを修正できるソフト

## 導入にかかった経費②

### 【導入後の工事】

- ・議会棟・行政棟wi-fiスポット設置工事(H26. 8) 約600,000円
- ・機器の充電ができるよう議場の電源工事(H27. 8) 162,000円

### 【導入後の追加購入品】

ipad置台	129円 × 30個	3,870円
コンセントタップ	190円 × 25個	4,750円
延長コード	11本	8,222円



### 【ランニングコスト】

- ・Wi-Fiルータ使用料(1台分) 月額3,883円
- ・議会棟Wi-Fiスポット通信料 月額5,940円

# ペーパーレス化の実績と効果

## 1 使用する紙・印刷費の削減

年度	データ化された紙の枚数		コスト換算
	議員1人当たり	議員＋事務局員	・25年度 3.46円／枚 ・26年度 3.51円／枚 ・27年度 3.56円／枚
25	2,403 枚	71,210 枚	246,386 円
26	3,186 枚	94,423 枚	331,422 円
27	3,345 枚	94,072 枚	334,893 円
計	8,934 枚	259,705 枚	912,701 円

※ 特別委員会、全員協議会、行政視察等の資料もペーパーレス化

2 印刷製本等に係る人件費・委託費の削減

3 資料配布、情報提供の迅速化、効率化

ただし、執行機関は  
ペーパーレス化して  
いない…

# 議会配布資料の状況

## ○ 平成27年9月定例会の本会議7日前配信分の例

使用会議	資料名	頁数	提供方法
本会議 委員会	・ 定例会招集通知	1	データ
	・ 会期日程(議運決定)	1	データ
	・ 予定議案(議案説明資料、決算の概要)	21	データ
	・ 議案書	101	データ
	・ 新旧対照表	65	データ
	・ 補正予算書	93	データ
	・ <b>歳入歳出決算書</b>		<b>冊子</b>
	・ 主要な施策の成果等説明書	282	データ
	・ <b>水道事業会計決算書</b>		<b>冊子</b>
	・ 決算審査意見書	100	データ
	データ化した資料の合計	664	

※ 決算書はA4見開きのため、画面で見づらい、文字が小さくなる、ページ送りが面倒ということで、代表者会議で冊子配布に決定。

※ 事前に配信できない資料は、当日に紙で配布

※ 個人情報を含む資料(損害賠償事件)などは、紙で配布

# 今後の課題

## 1 タブレット端末の更なる活用の推進

- ・ 操作方法の取得 ... 手書きメモ、新しいアプリ
- ・ 会議での活用 ... 電子採決(専用システムでなく経費をかけない方法)
- ・ 会議以外での活用... 議員活動、会派活動

## 2 端末の更新、貸与機種の見直し

- ・ 機器の寿命が5年と言われる。導入から3年を経過し、空き容量・バッテリー劣化の課題もあることから、個人所有機の活用も含めて今後2年ほどかけて更新を見直し
- ・ 当初から経費を抑えた無料クラウドを使用しているが、Side-Booksなど会議専用システムの導入も見直し

## 3 会議で使用できる電子機器の見直し

- ・ 音の鳴らないキーボード、音の鳴らない使用方法
- ・ 現状では、タブレットかパソコンのみ(スマートフォンは、傍聴者からの見た目が違うので禁止)

# 主な質疑・意見交換

**Q：** データが送信されたことはどのように知るのか？

A： 事務局から、各議員の携帯アドレスにデータを送信したので閲覧するよう依頼のメールが送られてくる。

**Q：** 導入に際しての議員の反応、活用状況は？

A： 反対意見はほとんどなかった。閲覧は全員可能だが、会議では必要な部分を印刷して持ってきている議員もあり、活用の度合い・習熟度に差はある。メモアプリを使えるのは数名のみ。

**Q：** 執行機関側の導入の動きは？

A： ない。当初、議会からも同時導入を提案したが、セキュリティ上の懸念や答弁資料など公開不可のものの扱いなど課題があると聞く。

**Q：** 具体的な事務量の削減は？

A： 各種通知や緊急連絡もメールとなり、議案配布、議案差替え事務などで効率化が図れる。

**Q：** 貴市システムの特徴は？

A： 紙面を画面にして容易に閲覧できること、できるだけ安価に運用できることを重視している。有効な汎用アプリがあれば取り入れる。タブレットをどのように管理・活用するかは自己責任。汎用会議システムでは、親端末からの遠隔操作が可能なものもあるが、自分のペースで活用することが基本。

## ～委員の所感①～

- 「事務の効率化、コスト削減、省資源化」については、導入3年経過後もなお運用上の課題があるようだ。①ITリテラシーの向上と議会内での最新の情報の共有、②タブレットを持つことによりITが議員能力をサポートする、③資料や写真などを活用した住民説明も可能となり、コスト縮減が可能、④議員活動に無限に可能性が出てくる、⑤「議会・議員のやる気次第、議員たる者は文明の利器を使いこなせなくてどうする」という言葉に賛同できる。本市に導入するとなれば、ペーパーレス化や事務の効率化等よりも、①～⑤に重きを置くべき。
- 関市は経費節減の観点から導入しているが、まずはどのように使うか、メリットは何かを十分議論し、議員力向上のために導入すべき。
- 導入に当たっては、「端末使用規程」「情報管理規程」等を定めることが必要。関市はドロップボックスを採用しているが、Side-Booksなど他システムとの比較検討が必要で、メモ機能の拡充が望まれる。研修会を開催しリテラシー能力を高めることが必要。市民への情報公開の密度がより濃くなることを考えれば、将来的にタブレットを導入すべき。
- 議会がおかれている立場を市民に理解されるように努力している姿を感じた。

## ～委員の所感②～

- 完全なペーパーレス化となっていないため、大幅な経費削減はできていない印象だが、情報共有レベルで個人差がなくなるのは現代にマッチしている。ただ、使いこなすという面での個人差は否めない。導入に際しては、かなり細部まで知恵を絞らないと使いこなすことはできないと感じた。
- 全議員がタブレットを使えるよう十分な研修が行われている。今後、執行機関側との有効利用を含め、活用が進むものと思われる。
- 平成25～27年のコスト削減実績が、年平均31～32万円程度である。導入時のコスト、ランニングコスト、執行機関側が未導入の状況で導入目的が果たされているとは思えないが、一定のアピールになる。時代の進展に伴い、議会でもICT化を図る目的の方が理にかなう。
- 平成24年から約1年でペーパーレス化に移行した取り組みは、高く評価できる。情報やスケジュールの共有、メール通知などのメリットを強調していた。本市でも本格的な議論を試みるのもいいのでは。





## ～委員の所感③～

- そもそもデジタル文字になじめるのか、議員だけでペーパーレス化して如何ほどの経費が削減できるか、端末の更新費用やセキュリティ対策の問題、活用上の公私の区別など疑問は尽きない。議会のICT化は避けられない課題だが、議会だけというのにはあり得ない。私もタブレットを実際に持っていて、クラウドサーバーを利用した業務、資料収集、保存、データ活用など利便性は実感しているが、これを公費を使って議会に導入するとなると話は別で、慎重にならざるを得ない。「新し物好き」的な導入はやめた方がよい。ソフト会社主導の導入も要注意。全庁的なペーパーレス化、デジタル化、タブレットを使った議案説明・一般質問など議会運営も含めた具体的な改革の中でじっくり考えて対応する課題である。
- 使いこなせば非常に利便性が高く、効果的であると思う。ただ、活用・習熟には個人差があること、セキュリティ面で整理すべき点がある。ペーパーレスに移行しても3分の1の議員が印刷・持参の実態もあった。タブレットを導入している他の先進例でも、議会側が先行し執行機関側との調整がうまくいっていないものも見られ、本市での導入には更なる研究が必要と感じた。

# 滋賀県 大津市

平成29年2月1日現在	
人口	342,436 人
世帯数	144,997 世帯
面積	464.51 km <sup>2</sup>



## ○26年度決算

一般会計歳出決算額	財政力指数	経常収支比率
1,150億2,440万円	0.79	89.4%

うち議会費決算額	議会費の割合	議員数
6億6,964万円(日向市2億3,650万円)	0.6%(日向市0.8%)	38人

# 大津市議会の組織

区分	委員会名	定数	主な所管・調査事項
常任	予算	37	予算
	決算	35	決算
	総務	10	政策調整部、総務部、消防局、議会、監査、選挙管理、市民病院、ケアセンターおおつ、ほか
	教育厚生	10	福祉子ども部、健康保健部、教育委員会
	生活産業	9	市民部、産業観光部、環境部、農業委員会
	施設	9	都市計画部、建設部、企業局
	議会運営	12	議会運営
特別	公共施設対策	9	公共施設の整備、マネジメント
	高齢者生活支援	9	高齢者の暮らし
	総合観光対策	9	総合的な観光施策
	防災対策	9	防災、危機管理対策

3年連続  
の快挙!!

# 第10回マニフェスト大賞 「優秀成果賞」を受賞!



地方自治体や首長、議会などの先進的な活動や優れた取り組みを表彰する2015第10回マニフェスト大賞で、「**ミッションロードマップ**」が優秀成果賞を、谷祐治津市と草津市の広域景観連携」が優秀マニフェスト賞を受賞。平成27年11月に授賞式が行われ、市長、谷祐治議員が出席し、それぞれ賞状を受けました。大津市議会は、平成25年度には全日本市長会賞を受賞し、平成26年度には「審査委員会特別賞」を受賞となりました。



Manifesto Awards

## 市民の皆さまへ 受賞メッセージ

議会基本条例に規定される抽象的な基本理念を実現的な計画を提示している議会はほとんどありません。二元代表制の一翼を担う観点からは、首長と同様に予行活動計画を予め示し、市民の皆さんに対する説明責任

早稲田大学マニフェスト研究所発表

## 議会改革度調査2015ランキング 全国の地方議会で第2位!

議会改革度調査では、議会が果たすべき役割として「情報共有(政府活動費の公開、HPやSNSの活用など)」「住民参加(傍聴のしやすさ、住民意見の聴取など)」「議会機能強化(議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況など)」のそれぞれの改革度合を数値化し、ランキングを出しています。

全自治体の81.7%にあたる1,460議会が回答した2015年度実績のランキングが6月7日に発表され、大津市議会は「情報共有」は第3位、「住民参加」は第30位、そして「議会機能強化」は第1位となり、総合すると全国の地方議会で第2位の評価をいただきました。

特に評価された3点



地方議会初

ICTを活用!  
戦略的な広報



これまでのランキング推移

平成27年度評価 2位

平成26年度評価 18位

平成25年度評価 59位

平成24年度評価 116位



中核市議会議員会主催  
議会情報コンクールで

最優秀賞を受賞!

中核市議会議員会が主催する第11回議会情報コンクールにおいて、47の中核市の議会広報誌の中から「おかつ市議会だより」が最優秀賞を受賞しました。

おかつ市議会だよりは平成23年と平成27年に優秀賞、平成26年に審査委員特別賞を受賞しており、今回で4回目の受賞となります。

今後とも、市民にわかりやすい読みやすい紙割づくりと、積極的な情報発信に努めています。



## 大津市議会在「優秀成果賞」を受賞!

本年度のマニフェスト大賞は、全国から過去最多となる2,467件・1,433団体の応募があり、この中から大津市議会の「**ミッションロードマップ**」が**優秀成果賞**を、また谷祐治議員の「**近江八景・旧東海道でつながる大津市と草津市の広域景観連携**」が**優秀マニフェスト賞**を受賞。大津市議会で議会と議員のW受賞を果たしました。

受賞概要

### 大津市議会

議会MRM策定を中心とした「議会見える化」改革～議員任期に整合させた議会活動の実行計画の策定～。市民に見える議会例規への再編、政務活動費の支出帳票のネット公開等にも意欲的に取り組んだ。

### 谷祐治議員

大津市と草津市の広域景観連携を提案し、議会で重点的に質問。市議として自治体間の連携強化を、一級建築士として両市民の機運を高める取り組みを実践した。

するために、  
していきます。

# 議会基本条例

## 1 政策検討会議での検討

議会からの政策提案のために、テーマを出した提案会派等が座長を務め、各会派から選出した議員で構成する。(提案会派2名、各会派1名)

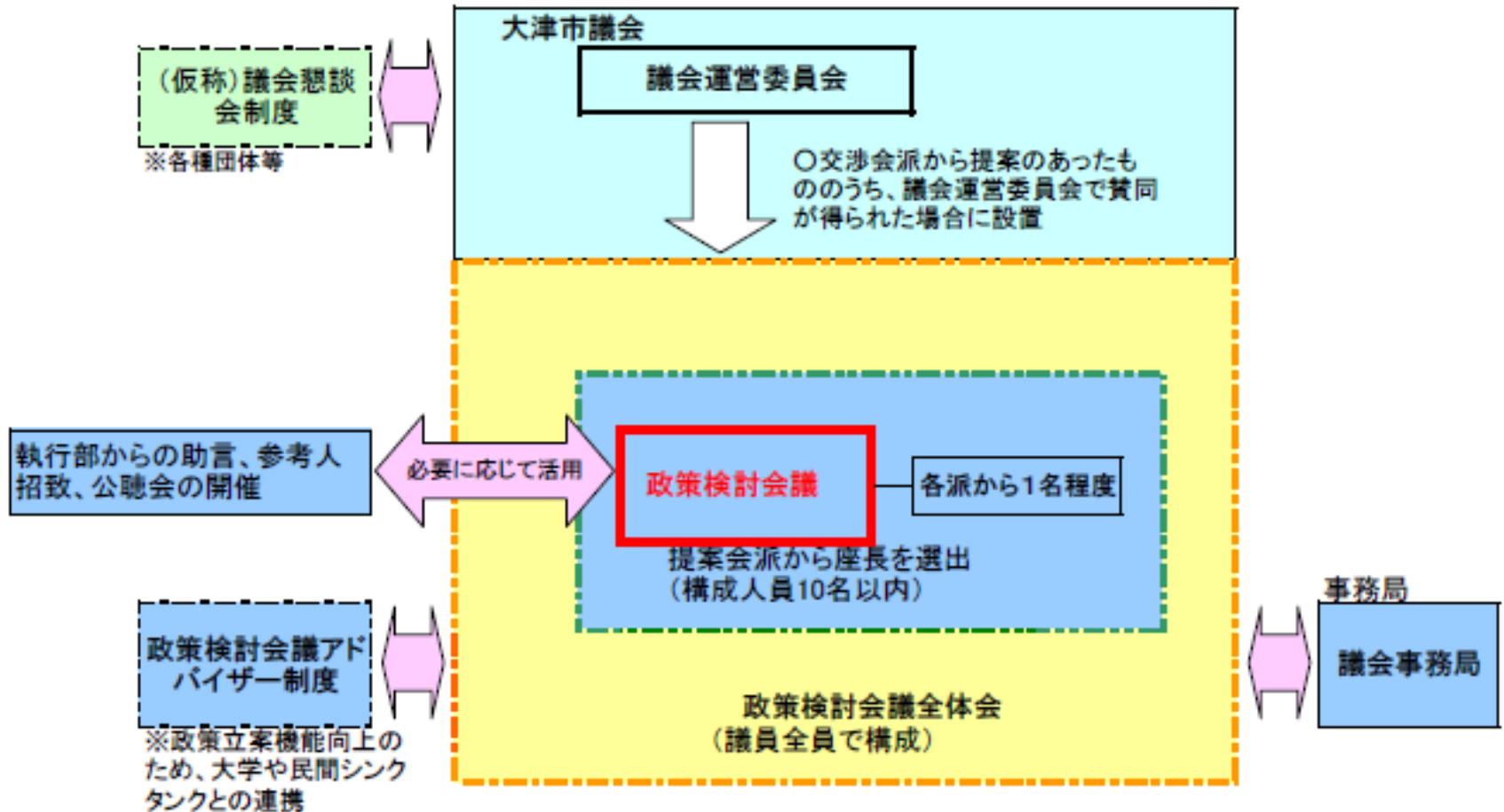
年度	実績
23	議員政治倫理条例の制定
24	いじめ防止条例の制定
25	議会BCP（業務継続計画）の策定
26	<b>議会基本条例の制定</b> 災害等対策基本条例の制定 いじめ防止条例の一部改正
27	議会ミッションロードマップの策定 がん対策推進条例の制定
28	議決事件の拡充 仮称：土地利用基本条例の制定（2年間） 議会における行政評価（2年間）



# 1. 組織の結成(イメージ図)

政策検討会議

(政策立案を目標に具体的な調査研究を行う会議)



条例づくりをはじめ様々な政策提言等、政策立案機能向上のため、大学と協定等を締結し、必要な支援を受けるもの。 ⇒ **パートナーシップ協定**

## ◆専門的知見の活用…大学とのパートナーシップ協定の締結

<p>龍谷大学 (H23. 11締結)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止条例の講師紹介</li> <li>・議員研修会の講師</li> <li>・議会報告会のファシリテーター派遣</li> <li>・議員研修会の進行と調整</li> <li>・大学図書館との連携</li> </ul>
<p>立命館大学 (H26. 1締結)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員研修会の講師</li> <li>・<b>議会基本条例の助言</b></li> <li>・インターンシップ受入れ</li> </ul>
<p>同志社大学政策学部・ 大学院総合政策科学研究科 (H26. 4締結)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員研修会の講師</li> <li>・議会BCPの助言</li> <li>・災害等対策基本条例の助言</li> <li>・議会放送番組のコーディネーター</li> </ul>



# 議会基本条例

## 1 制定の意義 -2つの側面-

### 改革条例・最高規範条例

- これまでの議会改革の歩みを後退させないための市民との約束
- 議会の組織や運営などの基準や行動方針を示し、他の議会例規を束ねる実質的的最高規範

### 【特色】

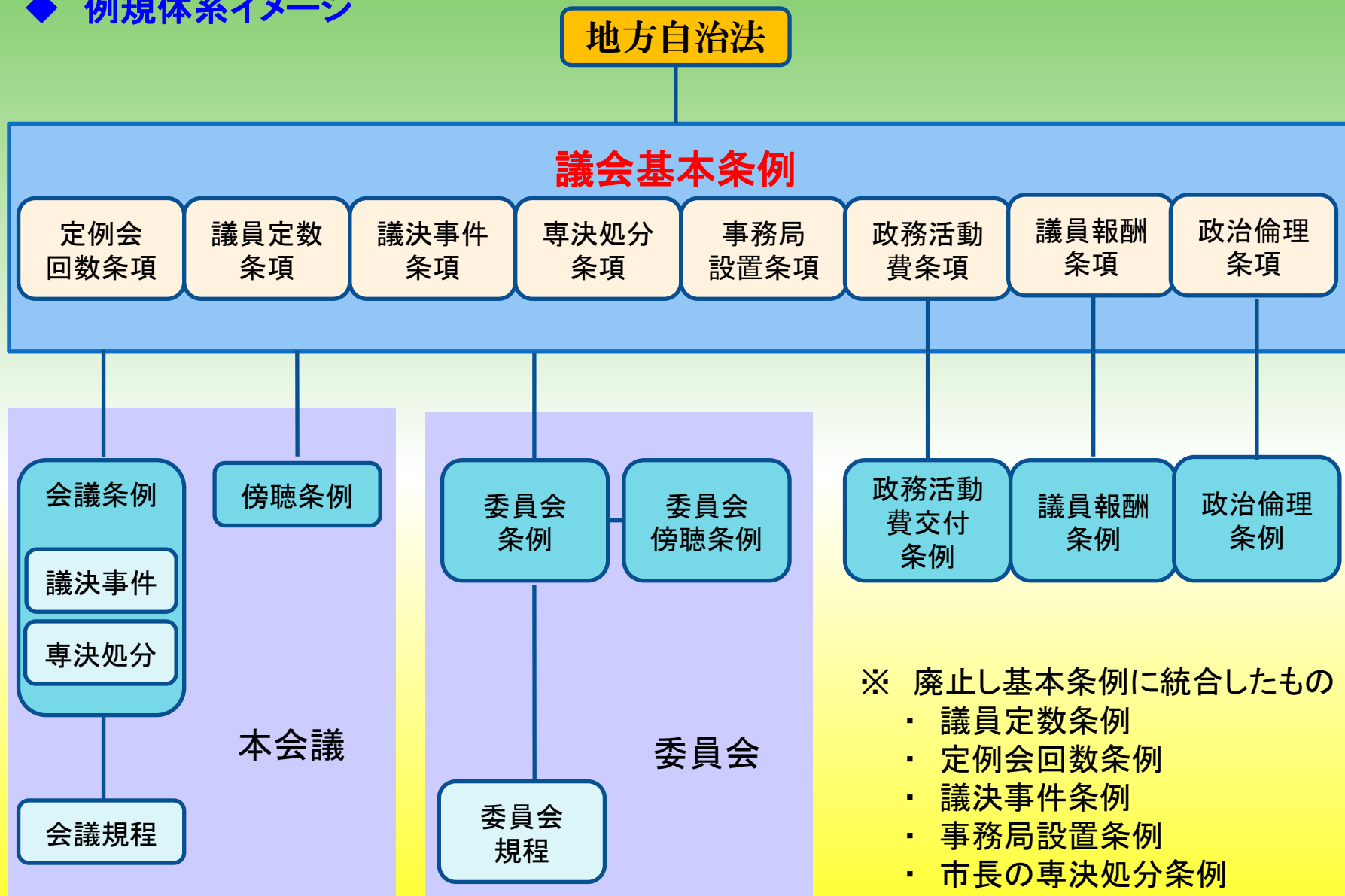
- ① 議会運営のみならず、議会組織についても定めた。
- ② 議会例規ナビとしての役割
- ③ 議会全体の例規構成をシンプルに

↓  
地方自治法により議会が条例で定めるとして  
いるものは、できるだけ議会基本条例に取り  
込んだ。

前文	
第1章	総則
第2章	議会及び議員の活動原則等
第3章	議会と市民との関係
第4章	議会と市長等との関係
第5章	議会の機能強化等
第6章	補則



# ◆ 例規体系イメージ



※ 廃止し基本条例に統合したもの

- ・ 議員定数条例
- ・ 定例会回数条例
- ・ 議決事件条例
- ・ 事務局設置条例
- ・ 市長の専決処分条例

◆ 特徴的な条項 ①

条文	解説
<p>(災害時の議会对応)</p> <p>第6条 議会は、災害時においても、議会機能を的確に維持しなければならない。</p> <p>2 災害時の議会の行動基準等に関しては、大津市議会業務継続計画（議会が災害時においても議会としての権能を果たすために必要な事項を定めた計画をいう。）で定める。</p>	<p>東日本大震災における被災都市の議会で、議会を機能させる体制が整っておらず、議決機関としての役割を果たせなかったことを教訓とした。災害時の組織体制や議会の行動基準に関しては、大津市議会業務継続計画（議会BCP）に定める。</p>
<p>(議員報酬)</p> <p>第10条 議員報酬は、二元代表制の趣旨及び社会経済情勢を勘案するとともに、議員の活動状況を反映し、定められなければならない。</p> <p>2 前項の規定に基づく議員報酬については、大津市議会議員の議員報酬等及び非常勤職員の報酬等に関する条例（昭和31年条例第19号）で定める。</p>	<p>二元代表制の一翼である市長が常勤職であることに鑑み、同じく公選たる議員が兼業することなく議会活動と議員活動に専念し、監視機能や政策立案機能を果たすことができるよう定める。</p>

## ◆ 特徴的な条項 ②

条文	解説
<p>(確認の機会の付与等)</p> <p>第18条 議員は、会議等において質問又は質疑（以下この条において「質問等」という。）を行うに当たっては、当該質問等の論点を明確にし、市民に分かりやすい方法で行わなければならない。</p> <p>2 市長等は、会議等における質問等に対して、議長又は委員長の許可を得て、答弁に必要な範囲内で当該質問等の趣旨を確認するための発言をすることができるものとする。</p> <p>3 議長は、議員又は委員会による条例の提案及び議案の修正の提案に対し市長等が意見を述べる機会を与えることができるものとする。</p>	<p>議会からの条例提案や議案修正に対して、市長等が意見を述べたいという意向がある場合でも従前はその機会がありませんでしたが、議会での議論を深めるために必要があるときは、意見陳述の機会を設けることを定める。</p>

◆ 特徴的な条項 ③

条文	解説
<p>(専門的知見等の活用)</p> <p>第24条 議会は、議案等の審議の充実、政策形成機能の強化及び政策の効果の評価に資するため、学識経験を有する者等の専門的知見を積極的に活用するものとする。</p> <p>2 議会は、前項の目的を達するため、大学等との連携の更なる推進に努めるものとする。</p> <p>(附属機関等の設置)</p> <p>第25条</p> <p>3 議会は、市政の課題に関し政策の提言又は条例の策定等の必要があると認めるときは、議員で構成する政策検討会議を置くことができる。</p>	<p>第25条第3項を「政策検討会議」の設置根拠とする。</p> <p>また、第24条においてその効果的な運用のために大学等との更なる連携の推進により専門的知見を積極的に活用していくことを定める。</p>

◆ 特徴的な条項 ④

条文	解説
<p>(議会局の設置及び体制強化)</p> <p>第26条 議会に関する事務を処理するため、法第138条第2項の規定に基づき、議会に事務局として議会局を置く。</p> <p>2 議会局に事務局長としての局長及び書記その他必要な職員を置く。</p> <p>3 職員の定数は、大津市職員定数条例(昭和25年条例第11号)の定めるところによる。</p> <p>4 議会は、議会及び議員の政策立案能力を高めるため、議会局の法務及び財務等市政に関する調査機能の強化に努めるものとする。</p>	<p>大津市議会事務局設置条例を廃止し、本条を根拠規定として組織名称を「議会局」とする事務局を設置しました。議会を支える体制をより充実・強化していくことを定める。</p>
<p>(予算の確保)</p> <p>第28条 市長は、二元代表制の趣旨を踏まえ、議会が議事機関としての権能を確保するとともに、より円滑な議会運営を実現し、かつ、政務活動機能の充実を図るために必要な予算の措置に努めなければならない。</p>	<p>議会の予算についても提案権は市長にあることから、市長に対し公選たる議員の立場を十分に考慮して、政務活動費をはじめとする適切な予算措置に努めるよう定める。</p>

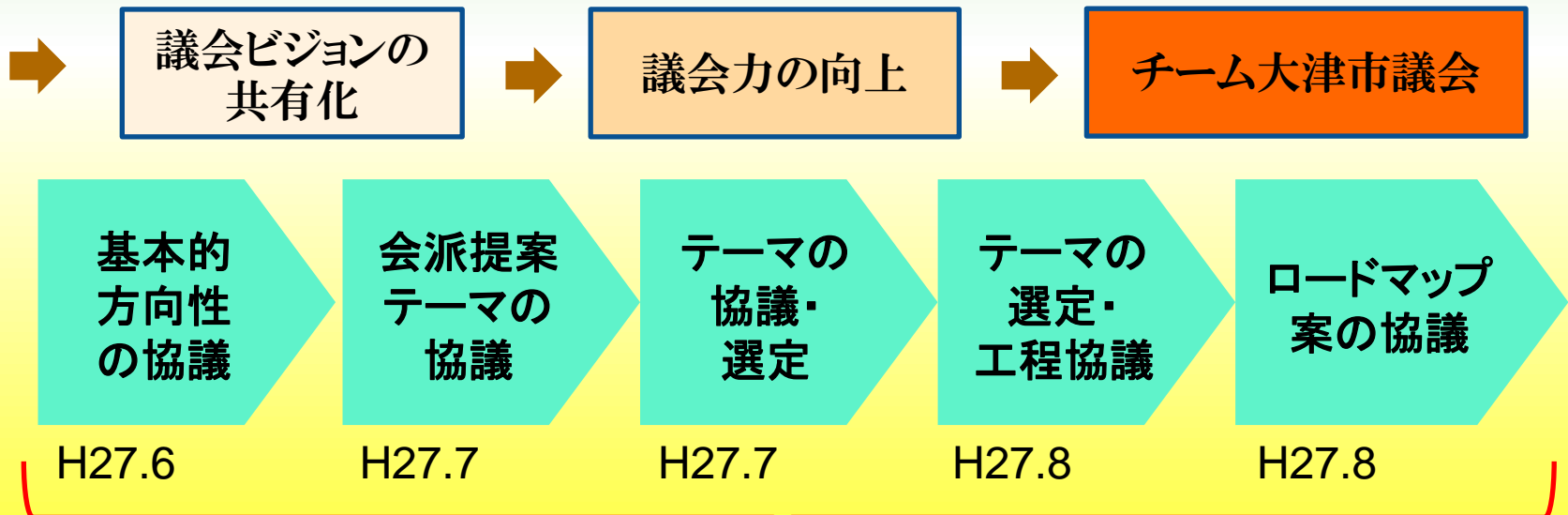
# 議会ミッションロードマップ

## 1 策定経緯

H27. 3 大津市議会基本条例の制定

H27. 5 大津市議会新体制スタート(同年4月改選)

- ・ 議会基本条例の「具現化」
- ・ 議会活動に対する市民への「説明責任」
- ・ 市議会の「見える化」



タブレットで全議員が情報共有！

# ～議会の責任と実行～

市民に分かりやすい 開かれた議会を目指して

## 2 概要

市民との約束である議会基本条例を**具現化**するため、議会版実行計画として策定。議員任期4年間における議会活動の実行目標やその工程を任期当初に設定することで、全議員が市議会としての議会活動への共通理解を深め、そのビジョンを共有することで議会力を高めるとともに、議会活動に対する市民への**説明責任**を果たし、市議会の「**見える化**」の推進を図る。

### 【基本理念】

市民自治の観点から時代を先導し、真の地方自治の実現を目指す

### 【基本方針】

- ① 二元代表制の一翼を担う議決時間としての責任を自覚し、その機能を最大限発揮すること。
- ② 市民に対し市政の課題などの情報を積極的に公開し、負託を受けた市民に分かりやすい開かれた議会運営を行うこと。

# 議会ミッションロードマップ

## 3 対象期間

議員任期がH27. 5. 1～31. 4. 30であることを踏まえ、H27. 10. 1～H31. 3. 31とする。

## 4 策定方法

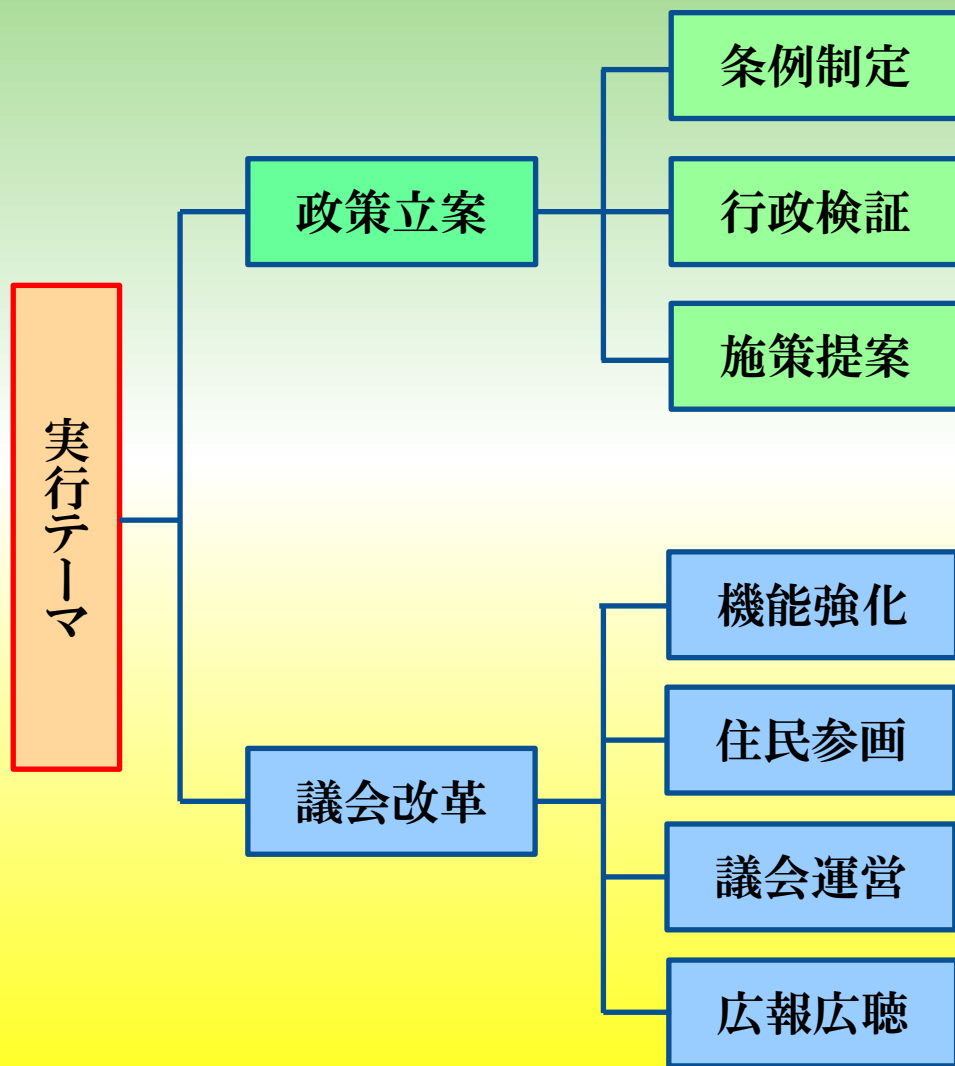
政策検討会議における協議を踏まえ、全議員へ報告後、議会運営委員会で全会一致により策定。

## 5 実行テーマの選定

各会派が、政策立案及び議会改革の分野から44件を提出。ロードマップに相応しいものを抽出した後、共通性・市民性・緊急性・有益性・提案会派数の5項目で評価して、これまでの政策検討会議での条例制定に要した日数やその他の経験値などを総合的に検討し、選定した。



## 実行テーマの分類



## 5つの選定基準 —3段階評価—

共通性

議会として取り組むものか？

市民性

市民に直接かわりがあるか？

緊急性

課題の明確性は？

有益性

有効性、必要性、実行性、将来性は？

提案数

多くの会派が必要としている？

## 6 実行テーマ

- 1 がん対策推進基本条例
- 2 土地利用基本条例
- 3 交通基本条例
- 4 議決事件の検証
- 5 議会における行政評価
- 6 若者の議会への関心と投票率向上の仕組みづくり
- 7 専門的知見を有する職能集団との連携強化
- 8 政策形成過程における住民参加のあり方検討
- 9 議会活動の評価制度の構築
- 10 正副議長の立候補制、所信表明制、議長記者会見の導入
- 11 議会図書室の充実



# 大津市議会ミッションロードマップ（議会版実行計画）

## ～議会の責任と実行～

「市民に分かりやすい 開かれた議会」を目指して

### 目的

- 議会基本条例の「具現化」
- 議会活動に対する市民への「説明責任」
- 市議会の「見える化」

### 対象期間

平成27年10月1日～平成31年3月31日

### 進行管理

議会運営委員会による進捗の検証・評価のほか、外部委員会も予定

### 工程表

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
政策立案	(仮)がん対策推進基本条例	(仮)土地利用基本条例		
	議決事件の検証		(仮)交通基本条例	
		議会における行政評価		
議会改革	若者の議会への関心と投票率向上の仕組みづくり			
		専門的知見を有する職能団体との連携強化		
	正副議長選出に係る立候補制・所信表明制度の導入・適宜の議長記者会見の実施		政策形成過程における住民参加のあり方検討	
		議会活動の評価制度の構築		
	議会図書室の充実			

## ◆ テーマの取組み内容(一部)

〈ロードマップの実行テーマ 詳細〉

大分類	中分類	テーマ(項目)	取組内容	実施機関	工程								議会基本条例	
					平成27年度 前半 後半		平成28年度 前半 後半		平成29年度 前半 後半		平成30年度 前半 後半			
政策立案	条例制定	(仮称) 大津市がん対策推進基本条例の制定	がんは日本人の死亡原因の第1位であり、3人に1人はがんにより死亡し、その罹患率も増加傾向にある状況を踏まえ、市民への意識啓発としてがんの予防、早期発見を推進するとともに、がん対策に取り組む行動理念を示し、地域のがん医療の水準向上を図り市民が安心して暮らせる社会を実現することを目的とするもの	政										第4条 第17条
		(仮称) 大津市土地利用基本条例の制定	これまでの土地利用に係る行政の課題(個別法に基づく所管部局の連携不足や責任体制の不明確、土地利用問題協議会の形骸化等)を踏まえ、多様な視点(政策・環境・衛生・防災等)からなる土地利用に係る基本的な方針・方向性を明確にするとともに、市の総合計画、国土利用計画及び都市計画マスタープラン等の計画の位置付け・関連性を整理することで、本市が目指す土地利用の推進を図ることを目的とするもの	政										第4条 第17条

## ◆ 実行テーマの次に、取組み必要性が高いと評価されたテーマ

別表 (実行テーマの次に、取り組む必要性が高いとされたテーマ)

大分類	中分類	テーマ (項目)	取組内容	実施機関	議会基本条例
政策立案	条例制定	(仮称)大津市ネット依存から子どもを守る条例の制定	多くの子どもは多様な媒体を通してインターネットが駆使される社会の中で暮らしており、ネット依存をはじめさまざまな弊害や問題が指摘されている中、青少年の健全育成の視点などを踏まえた、子どもを守る条例を制定するもの	政	第4条 第17条
		(仮称)大津市歯と口腔の健康づくり条例の制定	歯と口腔の健康は、健康寿命の延伸や質の高い生活を営む上で非常に重要であることから、市民の健康づくりの見地から条例を制定するもの	政	第4条 第17条
		(仮称)大津市まちづくり基本条例の制定	地域特性を踏まえた住民自治のあり方、市の意思決定のプロセス、行政が考える市民との協働のあり方など、大津市のまちづくりの基本となる理念や方針を明確化するための条例を制定するもの	政	第4条 第17条
	行政検証	大津市重要な公の施設に関する条例の検証	市場や図書館、ケアセンターおおつについて、そのあり方が議論される中、市民生活に密接に関係するこれら施設を含め、市民ニーズを的確に反映すべく当該条例を検証するもの	議(局)	第4条 第17条
		大津市総合計画基本構想の評価・検証	執行部においては次期総合計画基本構想に向けた検証作業が実施されているが、その検証は不十分であると考え、市議会として評価・検証し、執行部への提案につなげるもの	政	第4条 第17条
	施策提案	条例を検証する仕組みづくり	市議会が議員提案の条例に限らず、全ての条例について、計画的に見直しや改廃などの検証が行える仕組みを検討するもの	政	第4条 第17条
		おおつ創生の検討	執行部においては短期間に地方創生として総合戦略の策定を進めているが、市議会として執行部とは違った視点により継続的に大津の将来を見据え検討を行うもの	政	第4条 第17条

※政 → 政策検討会議・・・ 議会から条例などの政策提案に関する協議を行うために設置された会議

議 → 議会運営委員会・・・ 議案や議会運営などに関する事項について、調査や審査を行うために設置された委員会

(局) → 議会局・・・ 地方自治法に基づき、議会に関する事務などを処理するために設置された事務局

# 議会ミッションロードマップ

## 7 進行管理、検証、評価

### (1) 担当する機関

ロードマップの進行管理は、議会運営委員会が行う。

### (2) 実施時期

原則として毎年1回、3月に実施。ただし、議会運営委員会が必要と判断した場合は、この限りでない。

### (3) 手法

当該年度に実施しているテーマの進捗状況を検証し、次年度以降のテーマの確認(テーマ、取扱順位、工程の変更を含む)を行う。

(4) 最終年度は、4年間の成果を外部からの視点も取り入れて客観的・総合的に評価・検証し、次期議員任期における議会活動に活用する。

- ・平成27年度テーマと評価 …… 4テーマすべて目標達成
- ・平成28年度テーマの確認 …… 当初の計画どおり
- ・全テーマと全工程の確認 …… 1テーマの行程を見直し

# 主な質疑・意見交換

**Q：** 議会報告会を行っているか。議会活動に対する市民の関心は？

**A：** 一度行ったが成果が上がらず、現在は団体等と意見交換を年3～4回行うようにしている。会議のネット中継やフェイスブックも開設しているが、効果は不明。マニフェスト大賞を受賞してから注目度は高まった。

**Q：** がん対策推進条例の制定に議会側が取り組んだ経緯は？

**A：** 各派が一般質問で条例制定を執行機関に提案したが進展せず、それならば議会側から作ろうという機運が高まり、政策検討会議で議論した。担当課との協議や医師会・保健所との意見交換、大学教授の助言などを得て実効性のある内容で定めた。

**Q：** 議員力向上、傍聴者増に向けた取り組みは？

**A：** 質問力向上の研修を議場で行った。政策検討に入る前には必ず研修会を開き、共通理解を図るようにしている。

傍聴者受付での氏名記入は廃止した。

**Q：** 議員間の連携が円滑のようである。

**A：** 意識の温度差は当然あるが、会派間の行き来が柔軟で、機関・組織としてまとまるという“文化”があると感じる。



議場内の大型スクリーンで説明

## ～委員の所感①～

- 「議会の責任と実行～市民に分かりやすい、開かれた議会」を目指した議会の「見える化」の取組みであるミッションロードマップの策定は大変良い。本市への導入は、全議員の意識改革による議員力の向上や取組み環境の整備を図ることが前提で、かなりハードルは高い。まずは、議会基本条例を今年度中に策定し、先進事例を参考に次のステップを踏めれば良いと考える。ロードマップの実行テーマの設定についても多くの課題を感じた。
- 3年連続でマニフェスト大賞を受賞するなど、全国でも抜きん出た市議会にふさわしい地に足のついた改革を実行している。問題意識が高く、ミッションロードマップも全議員がチームとして市民のために任期4年間の行動を明らかにするという独自の手法は大変参考になる。そのまま導入するにはハードルが高いと思うが、散りばめられたビジョンを日向市議会に活かしていきたい。
- 「市民に分かりやすい、開かれた議会」を目指して議会活性化に取り組んでいる。主役は誰かという事を改めて考える必要がある。私たちも市民から「活動が見えない」という声をよく耳にする。議会が変われば、市政が変わるという認識をもって取り組まねばならない。二元代表制の一翼を担う議会は、開かれた議会として議会報告会や市民及び各団体との意見交換会を含め、市民との距離を縮めて市民自治の観点から時代を先導し、真の地方自治の実現を目指さなくてはならない。



## ～委員の所感②～

- もともと議会改革と議員提案の条例制定などに積極的な下地があると思われた。議員間の意識の違いはあるが、徹底した議論と意識向上を目指す姿勢は見習うべき。我が市では議会基本条例の策定も重要であるが、議員の意識向上がまず重要で、議員全員が同じ方向を向いた改革の必要性を感じた。
- 先進的な議会であり、前進への意気込みが感じられる。議員活動の「見える化」の具体化や専門的知見の活用に優れ、機関議会としての議員間の連携も良好のようである。
- まさに議会改革のお手本である。①政策立案機能の強化、②審議の活性化、③議会活動の透明性向上などに取組み、その中心が議会運営委員会の諮問を受けた「議会活性化検討委員会」であり、オール議会として取組む“司令塔”であると理解できた。ミッションロードマップは議会基本条例を具現化する実行計画で、議会の「見える化」を推進するものであるが、本市でも議会基本条例を制定するだけでなく、制定後の自己評価が必要と感じた。
- ミッションロードマップは、相当の政策能力の専門的知識を高めないといけないと感じた。大学との協定など環境にも恵まれている。がん対策推進条例の制定も執行部、病院、医師会など幅広く専門家と協議を進めていた。議会基本条例は、議会改革の歩みを後退させない議会運営や行動指針などを示した実質的最高規範であり、先進的な散り組みが評価されていることがわかった。

## ～委員の所感③～

- 大学との協定など恵まれた環境である。議会基本条例で議員報酬を定めていることに議会活動への対価という責任を感じる一方、「二元代表制の一翼である市長が常勤職であることに鑑み、同じく公選たる議員が兼業することなく議会活動と議員活動に専念し、…」は理解できるが、現状において市民に理解されるには、総論、各論があると感じる。議会局の設置・体制強化は、刻々と変化する市民ニーズに応えるべき議会にとって重要であると感じた。
- 前例にとらわれず市民のためにできることからやっていく、議会としての一致点を見出し「チーム議会」として取り組む明確な理念がある。ビジョンの共有化を図り、設定した期間の中で議論が積み上げられていく仕組みがある。  
一つ一つの項目は、議運で賛同のあったテーマを政策検討会で議論。全会一致を原則とするが、会議への参加や最終判断については試行錯誤しているとのこと。ミッションを遂行する特徴として、大学との協定や、議会事務局の強化、議会・執行機関ともタブレットを活用して議会に臨んでいる点もある。本市も議会基本条例を制定するが、制定後の具現化、市民への説明責任、議会の「見える化」が試されると思う。



タブレットを活用した審議



第131号  
2月  
通常会議

# おおつ市議会だより

議会ミッションロードマップ  
着実に実行しています

議員提案により「がん対策推進条例」を制定  
龍谷大学図書館、市立図書館との連携スタート



## 高校生と市議会

選挙権年齢引き下げを目前に控え、市内高校生と市議会議員が「政治や選挙」について話し合いました

### 2月通常会議の主な日程

2月19日	本会議（議案の採決説明）	3月16日	予算委員会分科会（新年度予算案の採決）
3月3日	本会議（代表質問）	3月17日	本会議（議案の採決）
4日・7日・8日	本会議（質疑・一般質問）	22日	本会議（議案の採決）
10日・11日・14日	予算委員会分科会（新年度予算案の採決・審議）	22日	本会議（議案の採決）

#### 目次

- 特集 高校生と市議会 ..... 2-3
- 本会議の概要 ..... 4-5
- 特別委員会 ..... 6
- 代表質問 ..... 7-9
- 質疑一般質問 ..... 10-13
- 議案の議決記録表 ..... 14-15
- ミッションロードマップ進捗 ..... 16

おおつ市議会は、市民に開かれた議会、分かりやすい議会を目指しています

## 市議会第4回定例会

平成25年市議会第4回定例会を、12月1日から25日まで15日間、開催しました。

この定例会では、各議員が1般質問と1件、補正質問と1件、討論と1件、選挙の、合わせて26件を議題として、開催しました。

◆12月1日の本会議（全期決）は、開会式、議員宣誓の誓いの朗読、開会式後、議員宣誓の誓いの朗読を行いました。また、開会式後、議員宣誓の誓いの朗読を行いました。

◆12月1日の本会議（全期決）は、開会式、議員宣誓の誓いの朗読、開会式後、議員宣誓の誓いの朗読を行いました。

◆12月1日の本会議（全期決）は、開会式、議員宣誓の誓いの朗読、開会式後、議員宣誓の誓いの朗読を行いました。

## 代表質問・一般質問

◆12月1日の本会議（全期決）は、開会式、議員宣誓の誓いの朗読、開会式後、議員宣誓の誓いの朗読を行いました。

◆12月1日の本会議（全期決）は、開会式、議員宣誓の誓いの朗読、開会式後、議員宣誓の誓いの朗読を行いました。

◆12月1日の本会議（全期決）は、開会式、議員宣誓の誓いの朗読、開会式後、議員宣誓の誓いの朗読を行いました。

◆12月1日の本会議（全期決）は、開会式、議員宣誓の誓いの朗読、開会式後、議員宣誓の誓いの朗読を行いました。

※ 本書の写真の一部は、「関市ホームページ」、「関市議会だより」、「大津市議会ホームページ」、「おおつ市議会だより」から引用しました。

